

## 田丸雅智『桜蝶』テスト練習問題と過去問まとめ

| 年 | 組 | 番 | 名前 |
|---|---|---|----|
|---|---|---|----|

### 漢字の読み書き問題

次の（ ）内の漢字の読みをひらがなで、カタカナは漢字で書きなさい。

問1 白石さんが（尋）ねる。

問2 倉橋君は（振）り返って。

問3 桜が（一斉）に咲き始める。

問4 ここで（偶然）見つけて。

問5 飛び立つ（気配）を見せる。

問6 （淡）いピンクの蝶。

問7 ピンクの（霞）が移動する。



問8 美しい光景に（見惚）れる。

問9 親の（テンキン）で。

問10 （コキョウ）を離れる。

問11 自分の（キョウグウ）。

問12 （コドク）を分け合う。

#### 語句の意味問題

問1 「そんな折、僕はこの公園で偶然にも桜蝶を見つけた」とありますが、  
「折（おり）」とはどのような意味ですか。次の中から一つ選び、○で囲みなさい。

ア：紙や布などを折り曲げること。

イ：その時、機会のこと。

ウ：気持ちがくじけてしまうこと。

エ：季節の変わり目のこと。



問2 「自分の境遇を桜蝶に重ねては」とありますが、「境遇（きょうぐう）」とはどのような意味ですか。次の中から一つ選び、○で囲みなさい。

ア：その人が置かれている身の上や、環境・立場のこと。

イ：思いがけない幸運に恵まれること。

ウ：国と国、または町と町との境界線のこと。

エ：美しい風景を見て感動する気持ちのこと。

問3 「孤独を分け合ってきた」とありますが、この物語の中での「分け合う」は、どのような意味合いで使われていると考えられますか。最も適切なものを次の中から一つ選び、○で囲みなさい。

ア：自分の寂しさを桜蝶に完全に押し付けて、忘れ去ること。

イ：自分と同じように旅をする桜蝶に心を重ねることで、一人で抱え込んでいる寂しさをやわらげること。

ウ：桜蝶の美しさを見て、寂しい気持ちを楽しい気持ちに一気に変えること。

エ：クラスメイトの白石さんに自分の寂しさを話し、半分ずつ持ってもらうこと。

### 内容理解・読解問題（記述対策）

問1 Bの場面の語り手である「僕」とは、Aの場面に登場する誰のことですか。本文中の言葉で答えなさい。

問2 「桜蝶」とはどのような姿の蝶ですか。『～の蝶』に続くように、本文中から十七字で書き抜きなさい。



問3 AとBの視点の違いによる効果として、最も適切なものを次の中から一つ選び、○で囲みなさい。

ア：Aは登場人物の心情を細かく描き、Bは風景の美しさを中心に描いている。

イ：Aは風景や出来事の美しさを描き、Bは「僕」の過去や心情を詳しく描いている。

ウ：AもBも、どちらも同じ視点で同じ内容を描いている。

エ：Aは倉橋君の視点、Bは白石さんの視点で描いている。

問4 倉橋君にとって、毎日公園で桜蝶を見ることはどのような意味をもっていましたか。「境遇」「孤独」の二語を使って書きなさい。

問5 「春とはもう、お別れなんだね……。」という白石さんの言葉には、どのような気持ちが表れていますか。「季節」という言葉を使って簡潔に書きなさい。

問6 「緑の霞」と同じものを指す言葉を、本文中から三字で書き抜きなさい。

問7 「ピンクの霞」と「緑の霞」が表しているものの組み合わせとして、最も適切なものを次の中から一つ選び、○で囲みなさい。

ア：ピンクの霞＝怒り 緑の霞＝悲しみ

イ：ピンクの霞＝別れの寂しさ 緑の霞＝新しい始まりへの希望

ウ：ピンクの霞＝楽しさ 緑の霞＝不安

エ：ピンクの霞＝孤独 緑の霞＝絶望



問8 親友の言葉「別れは終わりなんかじゃない。始まりなんだよ」は、倉橋君の心にどのような影響を与えましたか。簡潔に書きなさい。

問9 この作品の題名が『桜蝶』である理由として、最も適切なものを次の中から一つ選び、○で囲みなさい。

ア：桜蝶が、季節の移り変わりの美しさだけでなく、主人公の心の変化を映し出す大切な存在だから。

イ：桜蝶が、実際に日本にいる珍しい蝶だから。

ウ：葉桜蝶のほうが桜蝶よりも大切な存在だから。

エ：白石さんが桜の花が好きだから。



## 田丸雅智『桜蝶』テスト練習問題と過去問まとめ (解答)

問1 たず

【解説】「尋（たず）ねる」は、わからないことを聞くという意味だよ。

問2 ふ

【解説】「振（ふ）る」「振（ふ）り返る」などの読み方があるよ。

問3 いっせい

【解説】「一斉（いっせい）に」は、みんな同時に、という意味だよ。

問4 ぐうぜん

【解説】思いがけず、たまたま、という意味の言葉だね。

問5 けはい

【解説】はっきりとは見えないけれど、なんとなく感じられる様子のことだよ。

問6 あわ

【解説】「淡（あわ）い」は、色が薄いことや、あっさりしている様子を表すよ。

問7 もや

【解説】本文では「もや」と読まれているよ。遠くがぼんやり見える様子だね。

問8 みほ

【解説】あまりの美しさに、心を奪われてじっと見つめることだよ。



問9 転勤

【解説】仕事の都合で働く場所が変わり、引っ越すことだよ。

問10 故郷

【解説】生まれ育った土地、ふるさとのことだね。

問11 境遇

【解説】その人が置かれている立場や環境のことだよ。

問12 孤独

【解説】「孤独」は、一人ぼっちでさびしい気持ちのことだよ。

問1 イ

【解説】「そんな折」は、「そんな時」「そのような機会に」という意味で使われているよ。

問2 ア

【解説】「僕」は親の転勤で知らない町へやってきて、親友と離ればなれになった「境遇（環境・立場）」にいるね。

問3 イ

【解説】ここでの「分け合う」は、自分と似た存在に心を重ねることで、孤独を少しやわらげる、という意味で使われているよ。

問1 倉橋君

【解説】Aの場面を外から見ていた視点が、Bの場面では倉橋君の中に入り、「僕」という一人称で語られているんだね。



問2 花びらのような羽を持った淡いピンク

【解説】本文では、桜蝶の見た目がとても美しく、幻想的に描かれているよ。書き抜き問題では、一字一句正しく書こう。

問3 イ

【解説】Aは外から見た視点で幻想的な景色を中心に描き、Bは「僕」の視点で心の中や過去の出来事を詳しく描いているよ。

問4 (例) 自分の境遇を桜蝶に重ねることで、孤独な気持ちを少しやわらげる意味をもっていた。

【解説】ただ「きれいだから見に行った」のではなく、自分の気持ちを桜蝶に重ねていたことが大切だよ。

問5 (例) 春という季節が終わってしまうことへの寂しさ。

【解説】白石さんは、桜蝶の旅立ちを見て、春の終わりと別れの寂しさを感じていると読めるよ。

問6 葉桜蝶

【解説】「緑の霞」は、葉桜蝶の群れを表しているよ。色の描写が、季節の変化と結びついていることをおさえよう。

問7 イ

【解説】ピンクの霞は桜蝶の旅立ちによる別れの寂しさ、緑の霞は葉桜蝶が運んでくる新しい季節と希望を表しているよ。

問8 (例) 別れを悲しむだけでなく、新しい環境で前向きに生きていこうと考えるきっかけになった。

【解説】この言葉を思い出したことで、倉橋君は寂しさをこえて、新しい季節に目を向けられるようになったんだね。



問9 ア

【解説】桜蝶は、ただ美しいだけの存在ではなく、主人公の孤独や成長とも深く結びついている重要な存在なんだ。

